

第13回 定例ワールドカフェ (11/5) 感想 (2022.12.5 現在)

話題提供：私立学校の養護教諭からみえる子どもと学校の世界

提供者：鈴木愛さん (開明中学校養護教諭)

当日参加者：12名

感想 (Google Form) 回答者：8名 (分野_教育4名、福祉1名、医療3名)

・なかなか上手く入れず苦戦していました。途中からしか入れなかったのですが、辞めていく先生も多いって少し辛くなって思いました。きっと鈴木先生同様、皆さん子どもたちを応援したい、見守りたいという気持ちで働いておられたのではないのでしょうか。でも、ここではカラダや心が潰れてしまうと思われ辞められた先生も少なくはないのではないかとお話を聞きながら思いました。

保健室に30人もの生徒が来ているって、私はそこに生徒同士の意見交換、ピアサポートがあるのではと思いました。前回話した、問題志向ではなく、解決志向をきっと生徒たちが持っていると思います。保健室に来る子どもたち同士で解決していく何かが見つからないかな？と思いました。少しお金はかかりますが、ピアサポート学会大阪支部でデートDV出前授業ってのがあります。同じ世代の大学生が、各クラスに入ったりして、アサーション、性についてを話してくれます。そういうのもどうかな？と思いました。保護者からがんにがらめにされると子どもたちは外の世界が見えません。私は親や先生たちは、灯台であって欲しく、最初は湾の中で成長させ、徐々に、湾の外回り、そして、世界へと。でも、灯台は常にあり、いつでも照らしてあげてるから迷った時は帰っておいでと思っています😊上手く文章まとめられていませんが、鈴木先生、応援していますね。

・鈴木先生、今日は本当にありがとうございました。古山先生、感想のところで時間を取りすぎてしまい、申し訳ありませんでした。契約書のお話をさせていただいたのは、労働法上どこまではOKでどこからはアウトなことなのかを、先生ご自身が知ったうえで働くのと、そうでないのとではいろんなところが違って来るからです。もし、お力添えできることがあれば、いつでも言ってくださいね。今日のお話を伺っていて、不登校の支援がSCよりも養護の先生が教室の運営をされていることに驚きました。登校への入口が保健室であることには疑問はありませんが、その後のことも鈴木先生が奮闘されていることには違和感があります。その場面では担任や教科担当の先生方が学ぶことがたくさんあると思うのです。なぜその子どもたちが登校しにくいのかとか、その子の特性とか、話ではなく実感をもって理解していくチャンスではないのでしょうか。ずっと常駐してもらえなくても、時々顔をだしてもらったり、安心安全な場面で話を聞くなど、教室復帰を進めるのだとしたら、担任や教科の先生の担うべき(あえて「べき」と言わせてください)で、鈴木先生はそこにいる子どもたちにとっては「受け入れてくれる人」でいていただきたい気がしました。(子どもによっては、安全な場面に担任など鈴木先生以外の人にきてもらいたくない場合もありますので、慎重さは必要ではあるでしょう。)最後に、校外の資源

とつながるには……というところは、私自身が市役所のこども相談で働いて学校とつながりたいけれど、私学の学校とどうつながろうかとまさに思案しているところです。また、キャリアコンサルタントとしても今月末に「教育機関における環境への働きかけとネットワーク」というテーマで研修を受けます。逆からのアプローチですが、ヒントがあるかもしれません。また、次回のワールドカフェで共有できたらと思っています。長々と失礼いたしました。

- ・私学ならではの大変さが伝わってきました。学校の中でも、この人なら、という頼りになるひが見つかるというのですが。
- ・私学で働く養護教諭の実際を聞くことができ、どこも同じ悩みがあるなというところと、私学ならではの（雇用の関係で）悩みがあるのだと思いました。たくさんの方が、伝えたいことや話したいことがあるのだと思いました。こうやってつながったのをきっかけに、普段から相談できる仲間になれるといいなと思いました。貴重な場を提供してくださり、本当にありがとうございます。鈴木先生へは直接ご連絡してみたいと思います。
- ・鈴木先生のお話は、私が今の学校に来た頃の状況と重なる部分もあり、共感しながら聞かせてもらいました。そんな困難な状況の中で、奮闘されている鈴木先生のエネルギーを感じて、同じ私学に勤める養護教諭として、応援したい！！と心から思いました。やはり一番のネックは、非正規雇用だということです。1年契約で更新も最長で5年までと決まっています。（無期雇用転換制度のため期限を切る学校が増えました。それまでは、10年超えても1年契約の非正規雇用が横行しており、賃金のベースアップもないなど劣悪な条件で働いている養護教諭も沢山いました。今も更に劣悪な条件で働いています。）私たちは、そんな養護教諭の切実な声を聞き、声を挙げようと署名活動をしています。私学には、養護教諭が一人も置かれていない学校が、まだまだ沢山あるという実情をもっと多くの人に知ってもらって、「公立なみにすべての学校に正規の養護教諭を置いて下さい。」という請願署名を集めたいと思っています。出来れば、思春期の子どもを守る会の皆さんにも署名のご協力をお願いしたいと思っています。今回のワールドカフェでは、私学の養護教諭にスポットを当てて報告する機会を作って下さり、本当にありがとうございました。養護教諭の配置基準の改善が、子ども達のいのちと健康を守ることに繋がります。今後とも、どうぞよろしく願い申し上げます。
- ・鈴木先生、お話ありがとうございました。富田林市立金剛中学校の藤井と申します。子どもの習い事の都合でいつも途中退出させてもらってます。今回も、途中退出してしまい、本当に申し訳ありません。

私の若き頃を思い出しながらお話聞いてました・・・あ。ちなみに、20年目くらいになったおばちゃんです。引き継ぎに関してはどこもそんな感じかもしれないです。私が新任で赴任したときは、新任6年の満期で2校目に転勤された先生の後任だったのですが、その先生は小学校へ転勤されて、当然、初めての転勤でバタバタ。新任なので4月1日にしか配属がわからないので、4月1日以降しか引き継ぎできない・・・

もう学校はスタートしてる(笑) そんな中での引き継ぎなので、だーっっっっと聞いて、後はいつでも電話して！みたいな感じでしたねぇ。私が6年後に転勤するときも新任さんが来ると聞いて、そこは同じことを繰り返したくなかったので、自分がもらったら嬉しいだろうな引き継ぎを健や健康教室を読みながらまとめて、ファイルにしました。次の先生の後任はベテランさんだったので、そこまで引き継ぎを必要とはしなかったようですが、その先生が産休に入るときは、私が作ったものをベースにしてくれたり、私も2校目から3校目に異動するときと同じものを再度作ったり。と、何かしらのベース作りは出来たかなあと考えています。それを見た人がまた真似してくれたり・・・。

性教育に関しては、時間確保がされてるのは本当にすごい！！と私も思いました。私自身、性教育に着手できたのは2校目。恥ずかしながら。それも自分の妊娠出産を経て「私が話できるな」って自信がもてたからです。私が授業しろって言われてもできへんなあ。って正直思ってたし、若い先生にやって。って言ってもイヤやろうなあ。って素直に思ったので。それでもうまく軌道に乗せられなくて古山先生にたどり着いたんですけどね(笑) あ。私自身も私立の中高の出身です。奈良の帝塚山です。以前、古山先生と話してた時に卒業生で話してくれそうな人を講師に呼んだらどうでしょう?! っていう提案をしたことがあったんですが、私自身が教育実習で母校で保健の授業をしたんですね。中1で。ちょうど妊娠出産のところで。精子が何億個あって、膣の中は酸性だから死んじゃって、右と左で卵管別れるから死んじゃって、、、それで受精した何億分の一の確立の受精卵で、それがみんな1人1人で、その1人1人がこの教室に集まっているこの奇跡！みたいな授業をしたら、教頭、校長が「この授業、必要やねえ、、、保健っている授業やね」って言うてくれたんですよ。早い話が、先生らも受けたことないですよ。こういう授業。だから、どうしていいかわからないんだろうな。って今でも思います(笑) 若い先生も受けたことないから、性教育やろう！って言ってもどうしていいかわかんない。恥ずかしい話はしたくない。そりゃそうですよね。自分をさらけ出さなあかんような気がしますもん。最初は、私が授業するので1時間下さい。で売り込みを始めて、事前事後指導いらぬ講師探してくるんで時間下さいってつなげて。それを3年間やってみたら、生徒の感想がいいから続けるようになったって感じですかねぇ。ここ最近私はアドバイザー立場になるように徹しています。あくまで主催者は担任、学年の先生。講師の紹介もするし、授業案の提供もする。でも、子ども達の実態が一番知っているのは学年の先生なので、打ち合わせの日程も調整はするけど、打ち合わせには必ず学年から代表者は入る。そこで要望等は伝える。講師任せにしない。そんな感じでやってます。感想を生徒が書いて、一番最初に読むのは担任。それをまとめて学級通信とかにしたら、私の手元に下さいってお願いして。で、私が読んで、この子にはどんな返ししましたか?とか話するようにしています。その後、私目線の保健だよりにして配布しています。時間があれば、講師の先生の話の前後とかに少し自分の話をするときもあります。中3の最後とかなら、なんで3年間やろうって思ったかっていうとね・・・って。自分をさらけ出して話をするときもあるし、こうい

うことがきっかけ。って話をすることもあります。職員会議でもなんで「いのちの授業」を大切にしたいんか、やりたいんかっていう思いを話すようにしてます。過去の生徒の妊娠の話であったり、自分の話であったり……。長い長い感想になってしまいました。なにかあれば、またご連絡下さい。私だったら……。今年のいのちの授業には赤ちゃん連れてサプライズゲストティーチャーお願いしちゃうかも知れません（笑）

- ・私立の学校で、他校との横繋がりのお機会もどこにあるかもわからない中で、目の前の子供達のために、こうして行動して、多職種に発信する先生の情熱に感動しました。先生の学校の子どもたちのために辞めないでくださいね。辛いことやお困りのことがあれば、この会につながった仲間に相談して元気をもらってほしいと思います。まずはできるところから、仲間はいます！